

中小企業地域資源活用促進法
に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu



美濃筒引き本染め
手刷り捺染

岐阜うちわ・
水うちわ



わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



岐阜提灯

岐阜県岐阜市
が応援するふるさと名物

©清流長良川に育まれた
岐阜の伝統工芸品



のぼり鯉



岐阜和傘



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成29年12月20日

岐阜県岐阜市

地域の
プロフィール

岐阜県南部に位置し、濃尾平野の北端に位置する岐阜市。北部には山林を有し、南部には市街地が広がっています。市内を横切るように北東から南西へ清流長良川が流れ、その河畔に緑豊かな金華山がそびえる自然豊かな都市です。

戦国時代に織田信長が、この地を「岐阜」と名づけ、金華山山頂に築いた岐阜城を拠点に天下統一を目指しました。江戸時代には加納町が加納藩の城下町、そして中山道の宿場町として栄えました。

長良川では1300年以上前から鵜を操って魚を捕える伝統漁法「鵜飼」が行われ、観覧船から漁の様子を見物することができます。



1

主な地域資源

江戸時代から守り
伝えられた伝統工芸

古より美濃和紙の産地が近く良質な真竹に恵まれたことから、和紙と竹を主な原材料とした提灯、和傘、うちわ、のぼり鯉、美濃筒引き本染め・手刷り捺染の伝統工芸品5品目が清流長良川の河畔で育まれました。

油、糊、渋、漆などの材料が入手しやすかったことから、江戸時代に製造が始まったといわれ、明治から昭和にかけて盛んになりました。細やかな手作業やいくつもの工程を経た分業制の家内工業によって支えられてきた産業であり、その工芸品は時代を経て今も暮らしの中で守り伝えられています。



2

ふるさと名物

長良川の川文化を 受け継ぐ伝統工芸品



◆ 岐阜提灯 地形か卵形に細いヒゴを巻き、薄い和紙を張って、花鳥、風景等が描かれた繊細で優美な工芸品。岐阜で生産されるものを「岐阜提灯」と呼び、日本有数の産地を誇っています。



◆ 岐阜和傘 加納藩主が下級武士の内職として和傘づくりを奨励したことから地場産業として確立された。多くの職人の手を経て製造され、各製造工程で熟練技術を要する手作業部分が多くあります。

2

ふるさと名物

長良川の川文化を
受け継ぐ伝統工芸品

◆ 岐阜うちわ・水うちわ うちわの仕上げに漆を塗った「塗うちわ」、柿渋を使った「渋うちわ」、がんぴ紙を張り専用のニスで仕上げる「水うちわ」があります。水うちわは主に納涼用に使われます。



◆ のぼり鯉 江戸時代に布製こいのぼりの代わりに和紙製で作られるようになったのが始まり。絵は手書きで和紙を手もみすることで丈夫な紙製品にしました。



◆ 美濃筒引き本染め・手刷り捺染 生地に文字や絵柄の下絵を描いて染める古来の技法で、相撲のぼり、武者絵のぼりといったのぼり旗や大漁旗などを製作します。

1

独自の支援策

◎伝統的工芸品振興事業 「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」により認定を受けた振興計画に基づき実施された事業に補助金を交付します。

◎見本市等出展補助金 市内の中小企業者を対象に海外または国内見本市等の出展に要する費用を補助します。

2

広報など

◎伝統工芸品普及のための情報発信

- ・ 伝統工芸品の常設展示
- ・ 他都市や海外での観光物産展や展示会への出品
- ・ 岐阜市の伝統工芸品を紹介する冊子やホームページを作成
- ・ 伝統工芸品の製作体験講座などを通して、伝統工芸とふれあう場を提供

